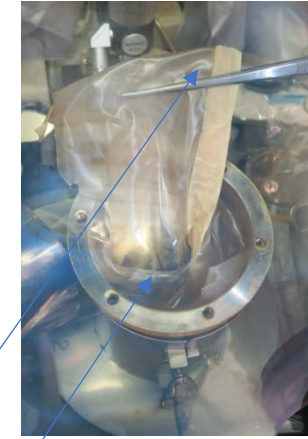


# 貯蔵容器内収納物の観察状況について



## 【外側の樹脂製の袋】

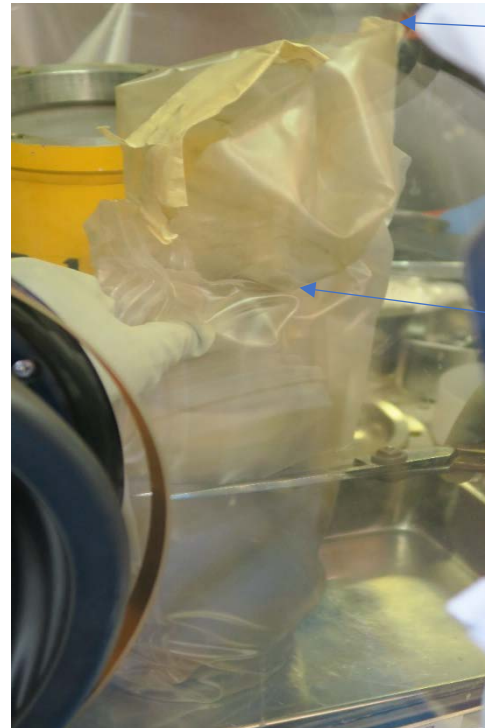
- 上側（赤枠部分）に破れあり
- 左、右、下側の3方向が溶着
- 縦：約37cm 横：約22cm



ポリ容器蓋を取り除いた後

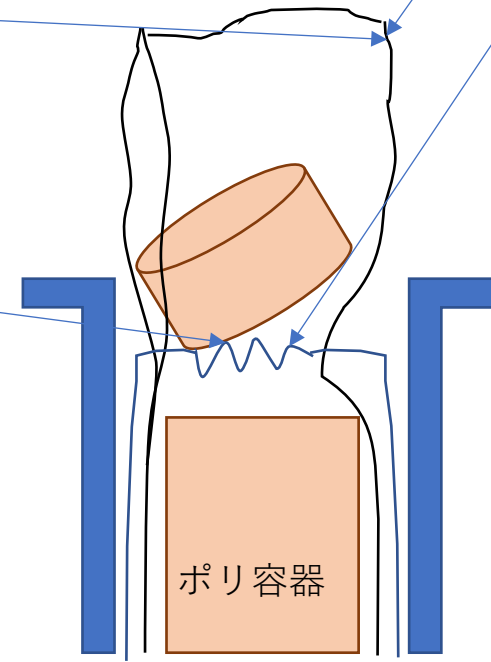


内側の樹脂製の袋をめくり、上部から観察



## 【内側の樹脂製の袋】

- 左側が溶着部に沿って裂けていることを確認（赤枠部分）
- 右側の溶着部は健全
- 縦：約45cm 横：約18cm
- 外側の樹脂製の袋の上側破れ部分から内側の樹脂製の袋が出ている状態



事故後の収納物の模式図



## 【ポリ容器】

- 破損なし、変色あり
- 蓋は、紙テープで固定
- 蓋上部に『X線打抜』と記載
- 容器の変色部は、もろく強度低下している模様

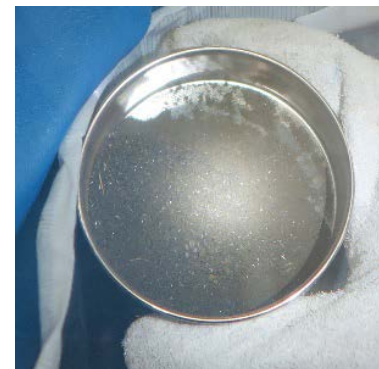
図1 樹脂製の袋・ポリ容器観察結果



【容器上部からの観察結果】



【ポリ容器の中にあった固形物】  
○収納物のうち比較的大きなものはX線回折測定済試料  
※詳細及びすべてが熱処理されていないものは調査中



【ポリ容器の中にあった粉末状のもの】  
○ピンセットで収納物を回収した後、回収しきれなかったものをふるい分けした粉末  
※詳細については調査中



【固形物詳細】

※光の加減によって見え方が異なりますが、同一のものです



【観察によって判明したこと】

- 収納物のほとんどはエポキシ樹脂で固定されたX線回折測定済試料であった。
- 樹脂製の袋の破損状況を観察し、外側の樹脂製の袋の上側破れ部分から内側の樹脂製の袋が出ている状態が観察された。また、内側の樹脂製の袋のほうは5cm以上長いことが確認された。
- ポリ容器は、変色が見られるが、割れなどの破損はなかった。

【これから実施する分析作業】

- 収納物について、X線回折測定による化学形態の確認する予定。
- 走査型電子顕微鏡／エネルギー分散型X線分光法による表面状態の観察及びプルトニウム及びウランの分析を実施する予定。

図2 収納物観察結果